

(様式1)

校種	小・中 どちらかに○	学校番号	53	学校名	宇都宮市立陽光小学校
----	---------------	------	----	-----	------------

## 令和6年度 学校経営計画

### 1 教育目標

#### (1) 基本目標

- ・豊かな心と健やかな体を持ち、創造的に考え、自らの向上とより良い社会の発展を目指して、たくましく生きる児童の育成

#### (2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・健康でねばり強い子
- ・自ら考え行動できる子
- ・仲良く思いやりのある子
- ・きまりを守り責任を果たす子

【合言葉】 「よく学び やさしく 元気な 太陽の子」

### 2 学校経営の理念

#### 【目指す学校像】

- ・思いやりと温かさに満ち、人権が尊重された居がいのある学校
- ・学び合い、高め合い、ひびき合う、学習環境が充実した学校
- ・家庭や地域と連携して、共に活力ある子どもたちを育む学校

#### 【目指す教職員像】

- ・人権を尊重し、責任感と使命感をもった、粘り強い教職員
- ・専門的知識と技術向上のため、同僚と協調し、学び合い、高め合う教職員
- ・教育公務員として厳正に勤務し、保護者や地域に信頼される教職員

### 3 学校経営の方針

- (1) 子どもたちが健やかに成長できる健康で安全な学校環境を整え、豊かな心を育成する。
- (2) 子どもとのふれあいを大切にしながら、一人一人のもつよさや可能性を引き出す。
- (3) 分かる授業、楽しい授業に向けた改善に取り組み、確かな学力を身に付けさせる。
- (4) 教職員自ら資質の向上に励むと共に、勤務時間の意識化や校務の効率化を一層推進する。
- (5) 子ども・保護者・地域との信頼関係と協力関係を基盤とした明るく開かれた学校をつくる。

#### 【陽南地域学校園教育ビジョン】

主体的に活動できる子どもを育む小中一貫教育

研究テーマ：生きる力の基本となる知識・技能とコミュニケーション能力の育成

### 4 教育課程編成の方針

- ・日本国憲法、教育基本法、学校教育法及び同施行規則、小学校学習指導要領や県・市教育委員会の規則・要領・施策・基本方針、さらに地域学校園教育ビジョンに基づき編成する。
- ・教科横断的な視点で学校や地域の資源（教材、施設、人材）と各教科等の関連付けを図るなど、カリキュラム・マネジメントを推進し、特色ある学校づくりに必要な資質・能力が育めるようにする。

- ・ 本校教育目標を実現するため、地域や学校の実態、児童の心身の発達段階と特性を十分に考慮するとともに、各教科等及び学年間の関連付けを図りながら、系統的・発展的な指導となるよう留意する。
- ・ 令和5年度学校評価のPDCAに基づいた改善案に、働き方改革とコロナ・リカバリープランの観点を盛り込み、行事や校務の見直しと改善をさらに進める。

## 5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

### (1) 学校運営

- 教職員がいきいきと勤務できる環境づくりと、地域とともにある学校づくり  
～業務の効率化の推進と家庭・地域とのつながり強化を目指して～

### (2) 学習指導

- 主体的・対話的で深い学びに向かう児童の育成  
～それぞれの教科等の特質を生かした指導を通して～

### (3) 児童生徒指導

- ・思いやりを基盤とし、自ら考え正しく判断し行動できる児童の育成  
～いじめ根絶に向けた取組の充実及び自己決定の場を与える指導を通して～

### (4) 健康（体力・保健・食育・安全）

- ・心身ともに健康で安全な生活を送ろうとする児童の育成  
～「元気アップ教育」の推進を通して～

## 6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

## 7 特色ある学校づくり等に関する取組

### (1) 育てたい資質・能力（教育目標の具体目標・【合言葉】から）

- ア「よく学び」：自ら問いをもち、様々な情報を活用しながら、協働的・対話的に自分の考えを深め、答を導き出せる力。
- イ「やさしく」：自他の個性を尊重し合い、相手を思いやる心やコミュニケーション力を身に付け、望ましい人間関係を構築しようとする力。
- ウ「元気な」：規則正しい生活習慣や望ましい食習慣を身に付け、安全で健康的な生活を送ることにより、たくましい体と心をつくろうとする力。

### (2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

- ア 基礎・基本の確実な定着と学習指導の工夫
  - ・主体的な学び合いの基盤となる学習規律の確立（「陽光スタンダード」と児童指導の連携）
- ◇・授業力向上と改善（一人一授業、「宇都宮モデル」の充実、協働的な学びにおける1人1台端末の活用）
  - ・学習機会の充実（教育課程の評価と改善、朝の学習やAIドリルの活用、家庭との積極的連携）
- ◇・地域人材を活用した体験的学習の充実（農園活動、読み聞かせによる読書推進活動）

- イ 思いやりの心や人権尊重を基盤とした居がいのある学校づくり
  - ・学業指導「学びに向かう集団作り」の内容を基にした学級経営の推進
  - ・特別活動や学級経営における主体的な係活動等の実施
  - ・基本的な生活習慣の育成(宮っ子心の教育、「陽光スタンダード」による学習指導との連携)
  - ・インクルーシブ教育の充実(特別支援教育研修、組織的な校内支援体制の構築)
- ◇・いじめの予防と防止(道徳科授業の充実、児童会や異学年交流活動の効果的活用、教育相談や相談ポストの活用)
- ウ 心身ともに健康で安全な生活を送るための資質・能力の育成
  - ・カリキュラム・マネジメントを生かした「元気アップ教育」の推進
  - ・状況に応じた感染症対策の推進(対策マニュアルの更新、学級活動、児童会活動等での取組、保護者の啓発)
  - ・体力の維持・向上(体育の授業力向上、〇〇チャレンジ等の活用、外遊びの奨励)
- ◇・食に関する指導の充実(地域学校園統一お弁当の日、統一献立等の活用、給食でのマナー指導の充実)
  - ・危険予測・回避能力の育成(避難訓練・各種安全教室の実施、元気っ子生活習慣チェックの活用、交通安全についての家庭への啓発と地域ボランティアとの連携)

## 8 本市の重点施策・事業との関連

- (1) 地域とともにある学校づくり(「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む)
  - ①基本的考え
 

平成30年に策定された「陽光地域ビジョン」の趣旨を生かし、地域協議会や地域各団体との連携を深め、「社会に開かれた教育課程」の実現に取り組む。
  - ②主な取組
    - ・総合的な学習の時間や生活科における学習支援ボランティアを活用した授業づくり。  
⇒まち探検、昔あそび、読み聞かせ、農園活動等
    - ・幼保小連携や地域住民・組織・施設とのふれあい活動による地域と学校の相互交流。  
⇒見守り隊、高齢者や保育園児とのふれ合い活動、陽光夏・冬まつり、等
- (2) 小中一貫教育・地域学校園
  - ①基本的考え
 

地域学校園研究テーマである「生きる力の基本となる知識・技能とコミュニケーション能力の育成」を実現するため、教職員の相互理解を深め資質の向上を図る。
  - ②主な取組
    - ・児童生徒指導や特別支援教育に係る情報の共有と相互支援  
⇒児童生徒指導強化連絡会議、卒業時情報交換、巡回パトロール、校長部会の定期的開催
    - ・学校園内の行事における教職員との協働や、各分科会の活動の推進  
⇒小中合同あいさつ運動、就学時健康診断相互支援、給食食材共同契約、物品共同購入、等
    - ・児童生徒の健康、体力の向上と、食育の推進のための協働・情報共有  
⇒地域歴史探検ウォーク、合同おにぎりの日・お弁当の日、図書館部会連携統一献立の設定

### (3) 不登校対策

#### ①基本的考え

児童一人一人が生き生きと学校生活を送れるよう、児童生徒指導や学級経営、授業を充実させるとともに、学校生活不適應児童の支援に、全教職員が共同歩調で取り組む。

#### ②主な取組

##### ・不登校の未然防止

⇒一人一人を大切にす学級経営の実践、教育相談の充実、いじめ対策の強化、Q-UのSCによる分析と結果の活用、個に応じたわかる授業の展開

##### ・初期支援体制の充実

⇒ケース会議随時開催による組織的な支援、SC、市EC等を活用した保護者への支援

##### ・多様な支援方法の実施

⇒ICTを活用した学び、かがやきルームの活用、関係諸機関との連携

##### ・児童に関する情報共有

⇒スズキ校務「日々の様子」の活用、不登校情報共有シートの作成と次年度への引継ぎ、中学校との新入学生情報打合せ

### (4) G I G Aスクール構想

#### ①基本的考え

G I G Aスクール構想の実現のため、令和5年度の成果と課題を生かし、組織的、計画的に改善に取り組む。

#### ②主な取組

##### ・「個別最適な学びと協働的な学び」を実現するための組織的、計画的な取組

⇒学年に応じた端末利用スキルの習得、AIドリルの活用等宿題や家庭学習の工夫、School Taktの積極的活用

⇒運用規定の定期的な見直し

##### ・教職員のスキル向上

⇒学校支援員による研修、GIGAスクールNews等研修資料の紹介、学年やブロック単位での活用の研究と成果の蓄積

##### ・デジタルシティズンシップの育成

⇒情報モラル教育の充実、スマホ安全教室の実施、家庭との連携や保護者の啓発

### (5) 宇都宮学

#### ①基本的考え

宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情や誇りを持てるようにするために、様々な教育資源を活用しながら、積極的に取り組む。

#### ②主な取組

##### ・カリキュラム・マネジメントの推進による指導の充実

⇒体験活動の活用（まち探検や施設巡り、遠足、総合的な学習の時間での探究活動）、道徳科での地域教材による指導、給食での「宮っ子ランチ」等郷土食による指導、読み聞かせ

##### ・関連資料の収集と啓発

⇒1人1台端末を活用した情報収集、校内掲示、コンベンション関連団体との連携